

新幹線プレス

2020年1月21日 No.459

発行者 杉澤秀則

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

ダイヤ改の行路について抜本的な見直しを求め申し入れ

本日、地本はダイヤ改の行路について、乗務員の特殊性を全く無視した、健康と安全を軽視した過酷な行路に対して抜本的な見直しを求めて申し入れました。

他労組の皆さん！共に声を上げましょう！！

【 行路作成にあたっての抜本的な見直し 】

1. 予備月の休日指定は前月の10日に発表すること。
2. 運転士と車掌の準備報告時間を増やすこと。
3. 行路について、拘束時間を24時間以内とすること。
4. 出勤と退出時刻について
 - ①日勤行路の退出時刻を遅くとも19時前とすること。
 - ②休日前の退出時刻は12時前、休日後の出勤時刻は、11時以降とすること。
5. 睡眠時間は、少なくとも労働外時間7時間を確保すること。
6. 食事時間は、少なくとも労働外時間40分を確保すること。
7. 運転士行路での折り返しAB回しは、少なくとも12分を確保すること。
8. 運転士の短区間巡回行路は、短回行路とすること。

※以上は申し入れの要旨です。